

目次

MA-E3xx シリーズ TIPS	3
ハードウェア	3
ソフトウェア	3
その他	4

MA-E3xx シリーズ TIPS

ハードウェア

- CPUの動作クロックを設定する
- RTCによるStandby状態からのWakeup
- USB WiFi Dongleで無線LANに接続する
- UPS との接続 (APC)
- UPS との接続 (OMRON)
- Linuxコンソール出力を出力しない
- USB-HDMI/VGA アダプタの利用

- 開発向けお勧めボード

ソフトウェア

- SSHサーバの設定
- SDカードに root filesystem を作成する (Obsolete)
- SDカードを root filesystem にして自動起動

- LXCによる軽量仮想環境の導入
- Docker の導入

- FTPサーバの導入
- SoftEther の導入
- OpenVPN の導入
- PPTP でお手軽に VPN (クライアント編)
- PPTP でお手軽に VPN (サーバ編)
- Mosquittoの導入 (MQTT)
- Ruby の導入
- PHP5-fpm(with nginx) の導入
- Zabbix (Agent) の設定
- Zabbix (Server) の導入
- Zabbix (Proxy) の導入
- tshark の導入

- OpenJDK をビルドして使用する
- Apache Tomcat8 の導入

- fluentd + elasticsearch + Kibana3 によるログ収集 可視化
- InfluxDB を使う
- UPR Scalenics を使用する
- HULFT IoT の利用

- IJ SACM の利用
- WarpLink SPS の利用
- Things Cloud の利用

- MyDNS の利用 (Obsolete)
- SORACOM の各種サービスを使う

- 0-SIM を使う
- SMS を使う (MA-E350/F□MA-E350/N)
- LTE/3G モジュールのアンテナレベルをコンソールから確認する
- iPhone の USB テザリングを使用する
- GPSを用いた時刻同期 (MA-E350/KLxx)

- Sensor Tag を使う(Bluetooth Low Energy/BLE 接続)

- socat を使う (シリアル-TCP変換, etc.)
- ser2net を使う (RFC-2217 対応 COM Port Redirecter)
- RSYSLOG の設定

- IPTState による IPTables 状態の可視化

- ブートローダの環境変数ファイルを、Linuxから編集する
- 自動ファームウェア更新用 SD カードの作成 (from bootloader)

- 画像録画サーバを作る

その他

- フィボナッチ数列でベンチマーク

From:

<https://ma-tech.centurysys.jp/> - MA-X/MA-S/MA-E/IP-K Developers' Wiki

Permanent link:

https://ma-tech.centurysys.jp/doku.php?id=mae3xx_tips:start&rev=1545795203

Last update: **2018/12/26 12:33**

